

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：硬筆書写		安藤	■ 1 年 前期	
到達目標	1、文字の基本から学び読みやすい文章の書き方を学ぶ			2単位 32時数
	2、履歴書の書き方			実務経験
	3、書写検定合格のポイント			文科省書写検定審査委員
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	読みやすい文字を書くコツ①	文字を書くための基本		
	筆順	姿勢・持ち方・自分の名前の確認		
2	読みやすい文字を書くコツ②	自分の名前（配字配列）		
	筆順	感じのバランスの取り方を学ぶ①		
3	読みやすい文字を書くコツ③			
	筆順	感じのバランスの取り方を学ぶ②		
4	読みやすい文字を書くコツ④	片仮名の字源と特徴		
	部首	片仮名のバランスの取り方を学ぶ		
5	読みやすい文字を書くコツ⑤	片仮名の字源と特徴		
	部首	片仮名のバランスの取り方を学ぶ		
6	読みやすい文字を書くコツ⑥	縦書きの書式とバランス		
	常用漢字	活字から書き文字へ書き取り		
7	読みやすい文字を書くコツ⑦	横書きの書式とバランス		
	常用漢字	活字から書き文字へ書き取り		
8	読みやすい文字を書くコツ⑧	文字のバランスの取り方（まとめ）		
	常用漢字	縦書き・横書き（小テスト）		
9	読みやすい文字を書くコツ⑨	履歴書の書き方（下書き）		
		名前・漢字の書き取り練習		
10	読みやすい文字を書くコツ⑩	履歴書の書き方		
		履歴書を書くための書式とバランス		
11	読みやすい文字を書くコツ⑪	履歴書の書き方		
		添削を参考にまとめ		
12	書写検定合格のポイント①	横書き 第1・4問		
		～早書き・楷書～		
13	書写検定合格のポイント②	横書き 第1・4問		
		～早書き・楷書～		
14	書写検定合格のポイント③	はがきの表書き 第5問		
		～はがきの書式を学ぶ～		
15	書写検定合格のポイント④	はがきの表書き 第5問		
		～はがきの書式を学ぶ～		
16	テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：硬筆書写		安藤	■ 1年 後期	
到達目標	1、書写検定合格のポイント		2単位 32時数	
	2、合格できる技能を身につける		実務経験	
	3、筆ペンで実用書を学ぶ		文科省書写検定審査委員	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	書写検定合格のポイント		書写理論	
	①横書きの書式と特徴		部首	
2	・早書き4分(第1問)			
	・横書き(第4問) 漢字・平片仮名・数字・アルファベット		筆順	
3	②縦書きの書式と特徴			
	・楷書と行書の特徴		筆順	
4	・マス(第2問)			
	・縦書き(第3問)		草書のよみ	
5	③掲示文を書く			
	・B4サイズに油性マジックで書く		常用漢字	
6	・レイアウトとバランス(第6問)			
			常用漢字	
7	④はがきの表書き(復習)			
	・書式と文字のバランス(第5問)		まとめ①	
8	⑤復習(第1問～第6問)			
	・理論 過去問		まとめ②	
9	書写検定過去問題			
	・模擬①		評価1	
10	書写検定過去問題			
	・模擬②		評価2	
11	書写検定過去問題			
	・模擬③		評価3	
12	履歴書(復習)		評価4	
	書写検定の説明、その他			
13	筆ペンで実用書を学ぶ		検定の確認	
	・慶弔の表書き～慶事の書き方と由来			
14	筆ペンで実用書を学ぶ			
	・慶弔の表書き～弔事の表書きと由来			
15	筆ペンで実用書を学ぶ			
	・慶弔の表書き～慶事・弔事の表書き 小テスト・まとめ		評価5	
16	テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：サービス接遇	堂上	■ 1年 前期	
到達目標	1、サービス業務に対する心構え、対人心理の理解、対応の技術、振る舞いなどを学ぶ		2単位 32時数
	2、おもてなしの心とかたちを習得する		実務経験
	3、サービス接遇検定3級合格		放送局勤務歴有・コンサル業務
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	クール開始授業説明、到達点について	
2	敬語①	現状の敬語力	
3	敬語②	小テスト/尊敬、丁寧	
4	敬語③	小テスト/謙譲語	
5	敬語④	小テスト/よく間違える敬語の使い方	
6	検定対策	模擬テスト	
7	検定対策	模擬テスト	
8	中間テスト	筆記テスト	
9	復習授業	前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について	
10	敬語・グループ研究	グループワーク/サービス接遇2級対策	
11	敬語・グループ研究	グループワーク/サービス接遇2級対策	
12	敬語・グループ研究	グループワーク/サービス接遇2級対策	
13	敬語・グループ研究	グループワーク/サービス接遇2級対策	
14	敬語・グループ研究	グループワーク/サービス接遇2級対策	
15	敬語・グループ研究	グループワーク/サービス接遇2級対策	
16	最終テスト	筆記テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：サービス接遇	堂上	■ 1年 後期	
到達目標	1、サービス業務に対する心構え、対人心理の理解、対応の技術、振る舞いなどを学ぶ		2単位 32時数
	2、おもてなしの心とかたちを習得する 3、サービス接遇検定3級合格		実務経験 放送局勤務歴有・コンサル業務
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	クール開始授業説明、到達点について	
2	前期振り返り	理解できていないところの把握と克服	
3	敬語	過去問	
4	アナウンス文	場面に応じた文章作成・問題集	
5	掲示文	場面に応じた文章作成・問題集	
6	販売文	場面に応じた文章作成・問題集	
7	検定対策	模擬テスト	
8	中間テスト	筆記テスト・実技テスト	
9	導入授業	前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について	
10	電話対応	電話の受け方・名前伺い	
11	電話対応	聞き取り	
12	電話対応	伝言の受け方とメモ	
13	電話対応	会話のバトンタッチ	
14	電話対応	クレーム	
15	電話対応	ケーススタディ	
16	最終テスト	筆記テスト・実技テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：キャリアガイダンス		江川 雅美	■ 1年 前期	
到達目標	・自分発見（ワークを通して自分と向き合うことで気づきを促し「自分発見」に）		2単位 32時数	
	・企業リサーチ ・PR動画作成の準備		実務経験 心理カウンセラー/人材育成勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業		授業の内容を理解し、就職に向けた取り組み	
	(授業の進め方、成績のつけ方など説明)		を理解する	
2	就職までの流れ		自己理解とはどのようなことかを知る	
	自己理解1(ビヘイビアタイプ、エゴグラム)		素直に受け止める力を身につける	
3	自己理解2(願望の発見、自分はどんな人?)		自己理解	
			今まで考えてこなかったことを実際に具体化する	
4	自己理解3(欲望チェック)		自分の欲望がどのくらい存在しているか確認	
			無い人は欲を出すことの必要性を知る	
5	自己理解4(他信)		周りから見た自分を知る	
			素直に前向きに受け止める力を養う	
6	自己イメージの確立1		今の自分を客観的に見て理想とのかけ離れが無いのか自己分析	
	(現在のライフスタイル、理想の自分、こころの地図)		理想を明確にし、目標を設定する	
7	自己イメージの確立2		価値とは何かを理解する	
	(価値のリレーション)			
8	アピールポイント		表現力の強化	
	(振り返って自分についてまとめる)			
9	自分の方向性・優先順位と企業の選び方		基本的な流れを理解し、行動する	
	企業リサーチとは、リサーチの仕方・ポイント			
10	挨拶、礼儀、マナーなど①		対人からの見え方、受ける印象を理解する	
11	挨拶、礼儀、マナーなど②		心地よい挨拶、印象に残るなど社会人スキルと言われる	
			ことは何かを理解する	
12	希望企業の選定(5社くらいに絞る)			
13	PR動画撮影に向けて①			
	(自己PR、好きな教科、趣味・特技など作ってみる)			
14	PR動画撮影に向けて②			
	(PR動画の構成を考える(内容や作品など))			
15	PR動画撮影に向けて③			
	(構成に合わせてスピーチ内容を練り直し)			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：キャリアガイダンス		江川 雅美	■ 1年 後期	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・PR動画を作成する ・業界EXPOの為に準備 ・就職試験、面接、オンライン面接の対策 			2単位 32時数
				実務経験 心理カウンセラー/人材育成勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	PR動画用の自己PR修正、作品準備			
2	PR動画撮影①			
3	PR動画撮影②			
4	業界EXPO対策① (マナー、話し方、聞き方など)			
5	業界EXPO対策② (企業に質問したいことなどを考える)			
6	就職試験(筆記)対策① (過去問など)			
7	就職試験(筆記)対策② (過去問など)			
8	集中授業 (補強が必要と思われる分野をする)			
9	面接対策① (対策シート作成)			
10	面接対策② (対策シート練り直し)			
11	オンライン面接対策① (オンライン面接時の注意点など)			
12	オンライン面接対策② (オンライン面接の体験)			
13	希望企業リサーチ (企業に質問したいことなどを考える)			
14	希望企業リサーチ (企業に質問したいことなどを考える)			
15	希望企業リサーチ (企業に質問したいことなどを考える)			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：皮膚科学		藤武	1年 前期	
到達目標	1、皮膚の構造と働き、仕組みを理解		2単位 32時数	
	2、自分の肌の状態を知り、正しいスキンケアができるようになる		実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	講義		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	皮膚の役割と構造	皮膚の4つの役割と構造		
2	皮膚の役割と構造	自分の肌質を知る スキンケアの基本		
3	皮膚の役割と働き	表皮の構造		
4	皮膚の役割と働き	表皮の構造		
5	皮膚の役割と働き	表皮の付属器官		
6	表皮ケア	表皮の保湿と角質層と毛穴ケア		
7	皮膚の構造と働き	真皮・皮下組織		
8	中間試験	復習と解説		
9	美容上大切な皮膚の働きと役割	角質層バリア・皮脂膜		
10	美容上大切な皮膚の働きと役割	表皮ターンオーバー		
11	美容上大切な皮膚の働きと役割	毛細血管・繊維芽細胞		
12	基本肌	4肌分類・特徴		
13	肌別	肌のタイプとスキンケアの理解を深める		
14	肌別	肌のタイプとスキンケアの理解を深める		
15	試験	筆記試験		
16	解答・解説	復習と解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：皮膚科学		藤武	1年 後期	
到達目標	1、肌トラブルの状態、要因、ケアのポイントを理解しアドバイスができる様に			2単位 32時数
	2、美容の成分と肌にあった化粧品選び			実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	講義		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	美肌ケアの基本			
2	肌タイプとスキンケア		肌のタイプ理解を深める	
3	肌タイプとスキンケア		肌のタイプ理解を深める	
4	様々な肌状態		敏感肌の状態、進行過程、ケアのポイント	
5	様々な肌状態		ニキビのメカニズム	
6	様々な肌状態		ニキビの種別による状態、進行過程、ケアのポイント	
7	ニキビに効果的な成分とケアの方法		化粧品の選び方と使い方	
8	様々な肌状態		シミのメカニズム	
9	様々な肌状態		シミの発生状態、進行過程、ケアのポイント	
10	シミに効果的な成分とケアの方法		化粧品の選び方と使い方 日焼け止め	
11	様々な肌状態		肌荒れ。敏感のメカニズム	
12	様々な肌状態		乾燥、肌荒れ進行過程、ケアのポイント	
13	シミに効果的な成分とケアの方法		化粧品の選び方と使い方 保湿の種類とポイント	
14	肌と環境変化		美しさを損ねる要因	
15	試験		筆記試験	
16	解答・解説		復習と解説	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：メイク演習Ⅰ		森山	1年 前期	
到達目標	1、スキンケアの手順、ベースメイクの作り方、ポイントメイクの表現などメイク基本テクニックを習得する		4単位 64時数	
	2、セルフメイク（就活メイク、より魅力を増すメイク、イメージメイク）を極める		実務経験 化粧品会社勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	セルフメイク（就活メイク）自分に似合うメイクを知る	スキンケアからポイントメイクまで		
		セルフメイクの知識・技術を習得する		
2	セルフメイク（なりたいイメージに合わせたメイク）	スキンケアからポイントメイクまで		
	自分の魅せ方を知る	セルフメイクの知識・技術を習得する		
3	メイクアップの必要性、メイクの役割、スタンス解説	スキンケアの役割、メイクアップの		
	スキンケアの手順（クレンジング～ファンデーション塗布）	必要性を知り、実践（相モデル）		
4	スキンケアからベースメイク	手順を覚えて美しく仕上げる		
	（クレンジング～ファンデーション塗布まで）			
5	ファンデーションからベースメイク、リップ	ファンデーションを美しく塗布		
		リップのスタンダードテクニック習得		
6	ベースメイク、アイメイク	ベースメイクの完成度を上げ、		
		アイメイクのスタンダードテクニック習得		
7	ベースメイク、アイブロウ	ベースメイクの完成度を上げ、		
		アイブロウのスタンダードテクニック習得		
8	ベースメイク、チーク	チークのナチュラルな入れ方、スタン		
		ダードメイクの完成、テクニック習得		
9	骨格に合わせたメイクアップ	スキンケアをしながら骨格を把握し		
		メイクアップする		
10	メイクアップの応用（丸）	可愛らしく見せるメイク		
		の作り方を習得		
11	メイクアップの応用（三角）	かっこよく見せるメイク		
		の作り方を習得		
12	メイクアップの応用（四角）	大人っぽくエレガントに見せるメイク		
		の作り方を習得		
13	バランスのとれたメイクアップ（丸・キュート）	丸・キュートメイクまとめ		
14	バランスのとれたメイクアップ（三角・クール）	三角・クールメイクまとめ		
15	メイクアップまとめ	骨格を把握し、モデルに合う		
		メイクを作る		
16	試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：アロマ基礎		上村	1年 前期	
到達目標	1、精油の特色や取り扱い方を理解する			2単位 32時数
	2、アロマコーディネーターとしての基礎知識を身につける			実務経験
	3、アロマコーディネーターライセンス取得を目指す			美容関連会社勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	精油の基礎知識		取り扱い方、注意事項、禁忌事項	
2	精油の基礎知識		香りの歴史、抽出方法と部位による特徴	
3	精油の基礎知識		人間の脳と嗅覚	
4	精油の活用		キャリアオイル ブレンド比率	
5	精油の活用		キャリアオイル ブレンド比率	
6	精油の活用		オイルトリートメント	
7	基礎検定試験		アロマの歴史、オイルの特徴	
8	解答・解説		試験問題解答解説	
9	アロマと解剖学		呼吸器系と循環器系	
10	香りの心理		ルームフレグランスと香りの心理効果	
11	精油の効果		精油に含まれる成分	
12	試験対策		アロマコーディネーターライセンス	
13	試験対策		アロマコーディネーターライセンス	
14	試験対策		アロマコーディネーターライセンス	
15	試験(模擬試験)		アロマコーディネーターライセンス	
16	アロマコーディネーター試験		日本アロマコーディネーター協会ライセンス試験実施	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当 日本カラー ミーアシーズ ン	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：パーソナルカラー		■ 1年 前期		
到達目標	1、基本的な色彩理論を習得し、パーソナルカラーコンサルテーションの基礎を		2単位 32時数	
	2、自分自身のシーズンカラーと個性を知ること、より自己表現を豊かにできるよう 3、JCMASパーソナルコンサルタント3級合格を目指す		実務経験 結婚式場・百貨店等の色彩指導	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	色の重要性 パーソナルカラーコンサルテーションとは	パーソナルカラーコンサルテーションの説明 クラスメイトのカラーイメージ		
2	パーソナルカラーコンサルテーションと人間、 環境とのかかわり 色彩の基本	パーソナルカラーテスト・サブジェクティブカラーテスト 光と目の関係・トーン図作成		
3	色の歴史とシーズンカラーアナリシス 色彩の基本	パーソナルカラーコンサルテーションの成り立ち ドローイング カラーテスト 色の対比		
4	シーズンの色分析を必要とする理由 絶対シーズンの肌と身体の配色	シーズンカラーアナリシスの基本の分類、 肌の要素 肌のアンダーベースカラー		
5	色理論と4シーズンのカラーブーケ	色の三属性、色の調和、色の特性		
6	色理論と4シーズンのカラーブーケ 総復習	4シーズンのブーケカラーの特質		
7	復習テスト カラードレイピング	ドレイピングを始める注意点 着眼点 実習-カードレイピング		
8	カラードレイピング	実習-カードレイピング 4シーズンのファッションカラーズ①		
9	カラードレイピング	実習-カードレイピング 4シーズンのファッションカラーズ①		
10	絶対シーズンの特徴	シーズンの名付け方		
11	絶対シーズンの特徴	自分の個性のシーズンを確認する		
12	ブレンドシーズン 主観色	4絶対シーズンと16ブレンドシーズン 主観色の使い方		
13	身体の調和色 肌のアンダーベースカラーの確認	ボディカラーチェック ファンデーションテストの塗り方と見方		
14	前期総復習	テキスト第1章～第10章までの 総復習		
15	前期テスト	テキスト第1章～第10章までの テスト		
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当 日本カブ ミーアシーズ	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：パーソナルカラー		■ 1年 後期	
到達目標	1、色彩理論の基本を理解する	2単位 32時数	
	2、4シーズンカラーと個性を理解し、自分のシーズンカラー・個性を把握する 3、JCMASパーソナルカラーコンサルタント3級合格	実務経験 結婚式場・百貨店等の色彩指導	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	シーズンを生かす	4シーズンのファッションコラージュ	
2	シーズンを生かす	4シーズンのファッションコラージュ	
3	カラー診断実習	4シーズンのボードの仕分け	
4	カラー診断実習	4シーズンのボードの当て方	
5	カラー診断実習テスト	4シーズンのボードの並べ方、当て方テスト	
6	復習テスト	テキスト第1章～第12章までの復習	
7	体型(色とデザイン)	体型を色でカモフラージュする方法	
8	シーズンのメイクアップ ヘアカラーとスタイリング	4シーズンのメイクアップ 着色	
9	男性 カラーアナリストのシーズン	「自己分析とパーソナルアイデンティティについて」のレポート説明	
10	販売 インテリア	4シーズンのインテリア 着色	
11	子供たち カラーファン	「自己分析とパーソナルアイデンティティについて」のレポート説明	
12	パーソナルカラーコンサルタント3級 試験対策	前期総復習(テキスト第1章～第10章)	
13	パーソナルカラーコンサルタント3級 試験対策	後期総復習(テキスト第11章～第23章)	
14	後期テスト		
15	パーソナルカラーコンサルタント3級試験		
16			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ネイル		藤田	1 年 前期	
到達目標	1、JNEC3級取得（申込期限5/7～6/2）試験日7/18（日）		4単位 64時数	
	2、ネイルの基礎を学び知識と技術をマスターし検定合格を目指す		実務経験	
	3、		ネイリストとしてサロン経営/有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	前期授業の流れ	品名ラベルを貼り		
	テーブルセッティング、品名ラベル貼り	テーブルセッティングを作る		
2	座学：ネイルの歴史、技術体系	5種のカットスタイルを作る		
	実技：清書、ファイル、パフイング、シャイナ（ハンド）	指の持ち方、気をつける事、チップの装着方法		
3	座学：爪の構造と働き、皮膚科学	プッシュバック、アップを学ぶ		
	実技：クリーンナップ（自分の手）	ニッパーの持ち方、切り方		
4	座学：爪の病気とトラブル	赤のポリッシュを塗る、塗り方		
	実技：カラーリング、カラーオフ（ハンド）			
5	座学：消毒法	5枚花とバラ		
	実技：アート5枚花（ハンド）			
6	座学：生理解剖学、化粧品学	・ファイルからクリーンナップの流れを		
	実技：ファイル～クリーンナップ（相モデル）	相モデルで行う（40分）		
7	座学：プロフェッショナリズム	・カラーからアートまでの流れを		
	実技：カラー～アート（相モデル）	相モデルで行う（30分）		
8	検定対策（JNEC3級）	・相モデル70分、オフなし60分で		
	・相モデル（70分）・過去問テスト・要項説明	タイムトライアル		
9	検定対策（JNEC3級）	・過去問1回分を解く		
	・相モデル（70分）・過去問テスト・要項説明			
10	検定対策（JNEC3級）	・過去問1回分を解く		
	・相モデル（70分）・過去問テスト・要項説明			
11	検定対策（JNEC3級）	・過去問1回分を解く		
	・相モデル（70分）・過去問テスト・要項説明			
12	2級の技術を学ぶ	・2級検定の説明（任意）		
	・チップラップ（ハンド、自分の手）	・チップラップの手順やポイント		
13		・デモ		
	・チップラップ（ハンド、自分の手）			
14		・色々なカラーを塗ってみよう		
	・カラーリング、アート	・アートは過去のテーマで		
15		・1コマずつ2級の流れで実技テスト		
	・カラーリング、アート、チップラップテスト			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ネイル		藤田	1年 後期	
到達目標	1、JNEC3級取得（申込期限5/7～6/2）試験日7/18（日）		4単位 64時数	
	2、ネイルの基礎を学び知識と技術をマスターし検定合格を目指す		実務経験	
	3、		ネイリストとしてサロン経営/有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	前期授業の流れ	品名ラベルを貼り		
	テーブルセッティング、品名ラベル貼り	テーブルセッティングを作る		
2	座学：ネイルの歴史、技術体系	5種のカットスタイルを作る		
	実技：清書、ファイル、パフイング、シャイナ（ハンド）	指の持ち方、気をつける事、チップの装着方法		
3	座学：爪の構造と働き、皮膚科学	プッシュバック、アップを学ぶ		
	実技：クリーンナップ（自分の手）	ニッパーの持ち方、切り方		
4	座学：爪の病気とトラブル	赤のポリッシュを塗る、塗り方		
	実技：カラーリング、カラーオフ（ハンド）			
5	座学：消毒法	5枚花とバラ		
	実技：アート5枚花（ハンド）			
6	座学：生理解剖学、化粧品学	・ファイルからクリーンナップの流れを		
	実技：ファイル～クリーンナップ（相モデル）	相モデルで行う（40分）		
7	座学：プロフェッショナリズム	・カラーからアートまでの流れを		
	実技：カラー～アート（相モデル）	相モデルで行う（30分）		
8	検定対策（JNEC3級）	・相モデル70分、オフなし60分で		
	・相モデル（70分）・過去問テスト・要項説明	タイムトライアル		
9	検定対策（JNEC3級）	・過去問1回分を解く		
	・相モデル（70分）・過去問テスト・要項説明			
10	検定対策（JNEC3級）	・過去問1回分を解く		
	・相モデル（70分）・過去問テスト・要項説明			
11	検定対策（JNEC3級）	・過去問1回分を解く		
	・相モデル（70分）・過去問テスト・要項説明			
12	2級の技術を学ぶ	・2級検定の説明（任意）		
	・チップラップ（ハンド、自分の手）	・チップラップの手順やポイント		
13		・デモ		
	・チップラップ（ハンド、自分の手）			
14		・色々なカラーを塗ってみよう		
	・カラーリング、アート	・アートは過去のテーマで		
15		・1コマずつ2級の流れで実技テスト		
	・カラーリング、アート、チップラップテスト			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ビジネスカラー	姫野	■ 1年 前期	
到達目標	1、色彩理論及び色彩心理学の基礎を理解し、色の意味、効果、影響力について		2単位 32時数
	2、理論的に説明できるようにする。（占い、まじない、迷信などとの違いを明		実務経験 結婚式場・百貨店等の色彩指導
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	ビジネスカラーとは 色のイメージ	カラーを使う仕事を調べる クラスメイトのカラーイメージ	
2	パーソナルカラーについて 1.色彩心理学・生理学（人間の目と色の関係）	パーソナリティテスト・サブジェクトカラーテスト	
3	1.色彩心理学・生理学（色彩心理学とは）	ドロイング カラーテスト	
4	1.色彩心理学・生理学（色彩生理学とは）	色相環作成	
5	2. 眼のしくみ パーソナルカラー診断	トーン図作成	
6	3. 光と色 パーソナルカラー診断	トーン図作成	
7	4. 混色「加法混色」と「減法混色」 パーソナルカラー診断	心理効果表作成	
8	5. 色の三属性・色のトーン	色相配色表作成	
9	6. 色の連想・イメージ（赤～緑）	トーン配色表作成	
10	6. 色の連想・イメージ（青～水色）	自分の個性のシーズンを確認	
11	6. 色の連想・イメージ（茶～グレー）	色の性質・イメージ	
12	色の心理効果（暖色・寒色、進出色・後退色）	色の性質・イメージ	
13	色の心理効果（膨張・収縮、軽重、硬軟）	色の性質・イメージ	
14	前期総復習	色彩理論中心に前期内容復習	
15	前期テスト		
16	テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ビジネスカラー		姫野	■ 1 年 後期	
到達目標	1、色彩理論や色彩心理学に基づいて、ビジネスを構築する際に選択する色を理論的説明できるようにする。		2 単位 32 時数	
	2、ビジネスカラージュニアアドバイザー資格を取得するための学習をする		実務経験 結婚式場・百貨店等の色彩指導	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	色彩理論復習	色の三属性・三原色 色の視覚効果		
2	基本の配色	基本の配色 (色相配色・トーン配色)		
3	ビジネスカラー配色	1. 誰もが心地よい、快適感を満喫できる配色		
4	ビジネスカラー配色	2. 目を惹き、刺激的で興奮を促す配色		
5	ビジネスカラー配色	3. 時代を動かすトレンド的な配色		
6	ビジネスカラー理論	ビジネス戦略ツールとしてのカラーを考える		
7	カラーマーケティングとは	カラーマーケティングと色彩心理		
8	カラーイメージスケール	言語によるイメージスケール作成		
9	カラーイメージスケール	季節のイメージスケール作成		
10	カラーイメージスケール	自由課題によるイメージスケール作成		
11	カラーコーディネート演習	画像の色分析により、レイアウト、面積比を確認する		
12	カラーコーディネート演習	ファッションイメージカラー・広告のイメージカラー ・空間のアクセントカラー		
13	ビジネスカラージュニアアドバイザー資格試験対策	過去問題による試験対策		
14	後期テスト	資格試験内容を踏まえた後期テスト		
15	ビジネスカラージュニアアドバイザー資格試験	学科名：フラワービジネス学科		
16	試験解説	資格試験内容解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ホームルーム		藤武	■ 1年 前期	
到達目標	1、コミュニケーション力の向上と、問題解決力、目標設定が自らできるように			2単位 32時数
	2、検定合格に向けて努力する			実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	コミュニケーション能力を磨く			
2	コミュニケーション能力を磨く			
3	コミュニケーション能力を磨く	個人面談		
4	コミュニケーション能力を磨く	個人面談		
5	コミュニケーション能力を磨く	個人面談		
6	コミュニケーション能力を磨く			
7	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
8	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
9	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
10	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
11	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
12	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
13	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
14	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
15	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
16	振り返り			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ホームルーム		藤武	■ 1年 後期	
到達目標	1、コミュニケーション力の向上と、問題解決力、目標設定が自らできるように			2単位 32時数
	2、検定合格に向けて努力する			実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	コミュニケーション能力を磨く			
2	コミュニケーション能力を磨く			
3	コミュニケーション能力を磨く	個人面談		
4	コミュニケーション能力を磨く	個人面談		
5	コミュニケーション能力を磨く	個人面談		
6	コミュニケーション能力を磨く			
7	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
8	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
9	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
10	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
11	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
12	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
13	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
14	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
15	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
16	振り返り			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ホームルーム		藤武	■ 2年 前期	
到達目標	・就職活動に対する自己の課題理解、対策、対応ができる			2単位 32時数
				実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	就職活動に向けて	個人面談		
2	就職活動に向けて	エントリーシート作成		
3	就職活動に向けて	個人面談		
4	就職活動に向けて	志望動機		
5	就職活動に向けて	個人面談		
6	就職活動に向けて			
7	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
8	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
9	検定対策 就職活動に向けて	個別指導		
10	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
11	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
12	検定対策 就職活動に向けて	個別指導		
13	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
14	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
15	検定対策 直近の検定合格に向けて学習・練習を重ねる			
16	振り返り			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ホームルーム		藤武	■ 2年 後期	
到達目標	・ 就職活動に対する自己の課題理解、対策、対応ができる			2単位 32時数
				実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	個別面談 (各個人の状況の確認)			
2	就職指導 (個別対応)			
3	就職指導 (個別対応)			
4	就職指導 (個別対応)			
5	就職指導 (個別対応)			
6	就職指導 (個別対応)			
7	就職指導 (個別対応)			
8	就職指導 (個別対応)			
9	就職指導 (個別対応)			
10	就職指導 (個別対応)			
11	就職指導 (個別対応)			
12	就職指導 (個別対応)			
13	就職指導 (個別対応)			
14	就職指導 (個別対応)			
15	個別面談 (各個人の状況の確認)			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：スキルアップⅠ		藤武	■ 1年 前期	
到達目標	1、学びの成果の確認とフォローアップ 2、就職活動への意識を高め業界EXPOに向けた準備と取り組みで早期内定を目指す 3、接客コンテストでグランプリを目指す			2単位 32時数
				実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	講義・実技		成績評価の方法・基準	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	技術の向上に向けた特別授業			
2	技術の向上に向けた特別授業			
3	技術の向上に向けた特別授業			
4	技術の向上に向けた特別授業			
5	業界EXPOに向けた取り組み（企業研究） キャリアで調べた企業について詳しく調べる	志望動機の作成		
6	業界EXPOに向けた取り組み（企業研究） キャリアで調べた企業について詳しく調べる	志望動機の作成		
7	業界EXPOに向けた取り組み（企業研究） キャリアで調べた企業について詳しく調べる	エントリーシートの作成		
8	業界EXPO			
9	業界EXPO			
10	業界EXPO			
11	業界EXPO			
12	接客コンテストに向けて			
13	接客コンテストに向けて			
14	接客コンテストに向けて			
15	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学		
16	前期まとめ	前期振り返り		
		後期に向けての目標等		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：キャリアアップ		藤武	■ 1年 後期	
到達目標			2単位 32時数	
1年次の振り返りから課題を知り改善する 就職内定に向けて個別指導を行い、目標を持って取り組める体制を整える			実務経験	
			エステ勤務歴有	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	前期授業振り返り	教科ごとのカリキュラムを再確認 履修状況確認		
2	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート 個別指導		
3	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート 個別指導		
4	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート 個別指導		
5	復習とスキルアップ	後期内容を元の実習・講義 個別指導		
6	復習とスキルアップ	後期内容を元の実習・講義 個別指導		
7	復習とスキルアップ	後期内容を元の実習・講義 個別指導		
8	復習とスキルアップ	後期内容を元の実習・講義 個別指導		
9	復習とスキルアップ	後期内容を元の実習・講義 個別指導		
10	復習とスキルアップ	後期内容を元の実習・講義 個別指導		
11	復習とスキルアップ	後期内容を元の実習・講義 個別指導		
12	復習とスキルアップ	後期内容を元の実習・講義 個別指導		
13	復習とスキルアップ	後期内容を元の実習・講義 個別指導		
14	就職サポートとキャリアアップ	就職・キャリアアップを目指した 個別指導		
15	就職サポートとキャリアアップ	就職・キャリアアップを目指した 個別指導		
16	後期まとめ	後期振り返り 修飾語に向けての目標等		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：スキルアップII		藤武	■ 2年 前期	
2年前期履修カリキュラムの復習・サポート授業実施 到達目標 業界就職・修飾後のサポート オンライン留学の実施から個々の視野を広げる			2単位 32時数	
授業の方法 講義・実技			成績評価の方法・基準	実務経験 エステ勤務歴有
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	技術の向上に向けた特別授業			
2	技術の向上に向けた特別授業			
3	検定対策	受験間近の検定合格に向けた取り組み		
4	検定対策	受験間近の検定合格に向けた取り組み		
5	検定対策	受験間近の検定合格に向けた取り組み		
6	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
7	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
8	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
9	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備	スチューデントサロン①		
10	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
11	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
12	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
13	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備	スチューデントサロン②		
14	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
15	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
16	後期まとめ	修飾語に向けての目標等		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：特別補講		藤武	■ 2年 後期	
到達目標	1、自ら考えて、企画・提案ができるようになる			2単位 32時数
	2、ヘアメイクショーやスチューデントサロンで学びの成果を形にする			実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	技術の向上に向けた特別授業			
2	技術の向上に向けた特別授業			
3	検定対策		受験間近の検定合格に向けた取り組み	
4	検定対策		受験間近の検定合格に向けた取り組み	
5	検定対策		受験間近の検定合格に向けた取り組み	
6	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
7	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
8	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
9	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備		スチューデントサロン①	
10	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
11	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
12	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
13	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備		スチューデントサロン②	
14	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
15	学びの成果 ヘアメイクショーやスチューデントサロンに向けた準備			
16	ヘアメイクショー本番			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：フェイシャルエステ		藤武	1年 前期	
到達目標	1、フェイシャルエステティックの目的と効果を理解し、基本的な流れを習得す		4単位 64時数	
	2、フェイシャルエステティックで使用する各機器の特長の理解と技術の取得		実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	フェイシャルエステティックの基礎理論	施術に入るための準備と片付け		
	化粧品の特徴と種類	商材を理解		
2	フェイシャルクレンジング①	クレンジングの工程		
	クレンジング～拭き取り（スポンジ）手順			
3	フェイシャルクレンジング②	クレンジングの工程		
	クレンジング～拭き取り（スポンジ+HOTタオル）手順			
4	ディープクレンジング ①	酵素・吸引		
5	ディープクレンジング ②	ブラシ洗顔		
6	ディープクレンジング ③	ピーリング		
7	ディープクレンジング ④	エレクトロクレンジング		
	電気機器学（フェイシャル機器の取り扱いと電気的作用）			
8	確認テスト	ディープクレンジングまでの一連の流れをマスター		
9	肌質の見分け方			
10	カウンセリングに基づいたフェイシャルケアの選択	コンサルテーションを学ぶ		
11	カウンセリングに基づいたフェイシャルケアの選択	コンサルテーションを学ぶ		
12	カウンセリングに基づいたフェイシャルケアの選択	コンサルテーションを学ぶ		
13	カウンセリングに基づいたフェイシャルケアの選択	コンサルテーションを学ぶ		
14	パック（肌別選択と塗布、オフの手順）			
15	フェイシャルマッサージ 通し練習			
16	確認テスト	マッサージ		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：フェイシャルエステ		藤武	1年 後期	
到達目標	1、JEEC技術力試験に合格する		8単位 128時数	
	2、肌診断、コンサルテーション、基本手技のマスター		実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	フェイシャルエステティックとコンサルテーション 各種ディープクレンジングの一連の流れをマスター			
2	フェイシャルマッサージ（軽擦法）	手技の特徴と手法を学ぶ		
3	フェイシャルマッサージ（前回復習・強擦法）	手技の特徴と手法を学ぶ		
4	フェイシャルマッサージ（前回復習・揉捻法）	手技の特徴と手法を学ぶ		
5	フェイシャルマッサージ（前回復習・打法）	手技の特徴と手法を学ぶ		
6	フェイシャルマッサージ（前回復習・振動法）	手技の特徴と手法を学ぶ		
7	フェイシャルマッサージ（前回復習・圧迫法） 13点ツボ指圧	手技の特徴と手法を学ぶ ツボの位置と名称の理解		
8	フェイシャルマッサージ 通し練習			
9	フェイシャルマッサージ 通し練習			
10	フェイシャルベーシックトリートメントの流れとタイム	機器以外		
11	JEEC実技力試験対策			
12	JEEC実技力試験対策			
13	フェイシャル通し練習と口頭試問			
14	JEEC実技力試験対策			
15	JEEC技術力テスト			
16	振り返り			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：フェイシャルエステ		藤武	2年 前期	
到達目標	1、フェイシャルエステティックで使用する各機器		8単位 128時数	
	2、フェイシャルエステ「ケースに合わせたプラン」作成		実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	フェイシャルエステティックの基礎理論		施術に入るための準備と片付け	
	化粧品の特徴と種類		商材を理解	
2	フェイシャルクレンジング①		クレンジングの工程	
	クレンジング～拭き取り（スポンジ）手順			
3	フェイシャルクレンジング②		クレンジングの工程	
	クレンジング～拭き取り（スポンジ+HOTタオル）手順			
4	ディープクレンジング ①		酵素・吸引	
5	ディープクレンジング ②		ブラシ洗顔	
6	ディープクレンジング ③		ピーリング	
7	ディープクレンジング ④		エレクトロクレンジング	
	電気機器学（フェイシャル機器の取り扱いと電気的作用）			
8	確認テスト		ディープクレンジングまでの一連の流れをマスター	
9	肌質の見分け方			
10	カウンセリングに基づいたフェイシャルケアの選択		コンサルテーションを学ぶ	
11	カウンセリングに基づいたフェイシャルケアの選択		コンサルテーションを学ぶ	
12	カウンセリングに基づいたフェイシャルケアの選択		コンサルテーションを学ぶ	
13	カウンセリングに基づいたフェイシャルケアの選択		コンサルテーションを学ぶ	
14	パック（肌別選択と塗布、オフの手順）			
15	フェイシャルマッサージ 通し練習			
16	確認テスト		マッサージ	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：フェイシャルエステ		藤武	2年 後期	
到達目標	1、AJESTHE上級エステティシャン試験に合格する		8単位 128時数	
	2、肌診断、コンサルテーション、応用手技のマスター		実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	フェイシャルエステティックとコンサルテーション 各種ディープクレンジングの一連の流れ			
2	エフェクティブフェイシャルマッサージ	手技の特徴と手法を学ぶ		
3	エフェクティブフェイシャルマッサージ コンサルテーション			
4	エフェクティブフェイシャルマッサージ コンサルテーション			
5	エフェクティブフェイシャルマッサージ コンサルテーション			
6	エフェクティブフェイシャルマッサージ AJESTHE上級試験対策			
7	目的別フェイシャルマッサージ AJESTHE上級試験対策			
8	目的別フェイシャルマッサージ AJESTHE上級試験対策	フェイシャル通し練習と口頭試問		
9	目的別フェイシャルマッサージ AJESTHE上級試験対策	フェイシャル通し練習と口頭試問		
10	AJESTHE上級試験対策（機器）	フェイシャル通し練習と口頭試問		
11	サロンワーク			
12	サロンワーク			
13	サロンワーク			
14	サロンワーク			
15	試験			
16	振り返り			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ボディエステティック	藤武	1 年 前期	
到達目標	1、ボディトリートメントの基礎を学ぶ		8単位 128時数
	2、認定エステティシャン資格取得に向けたボディエステティック実技取得		実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	ボディの基礎と各名称の学ぶ		
2	前操作の目的と名称・位置		
3	前操作と手順 骨格と骨格筋		
4	ボディマッサージ (背面)	下肢後面-①	
5	ボディマッサージ (背面)	下肢後面-②	
6	ボディマッサージ (背面)	下肢後面-②	
7	ボディマッサージ (背面)	臀部	
8	ボディマッサージ (背面)	腰背部	
9	ボディマッサージ (背面)	腰背部	
10	ボディマッサージ (背面)	下肢後面～腰背部の通し練習	
11	ボディマッサージ (背面)	下肢後面～腰背部の通し練習	
12	ボディマッサージ (背面)	下肢後面～腰背部の通し練習	
13	試 験	背面のマッサージ	
14	ボディマッサージ (前面)	下肢のマッサージ	
15	ボディマッサージ (前面)	下肢のマッサージ	
16	ボディマッサージ (前面)	上肢のマッサージ	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ボディエステティック		藤武	1 年 後期	
到達目標	1、ボディトリートメントの基礎を学ぶ		8単位 128時数	
	2、認定エステティシャン資格取得に向けたボディエステティック実技取得		実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	ボディマッサージ (前面)	上肢のマッサージ		
2	ボディマッサージ (前面) 腹部の構造理解	腹部のマッサージ		
3	ボディマッサージ (前面)	腹部のマッサージ		
4	ボディマッサージ (前面)	デコルテ, 頭部		
5	ボディマッサージ通し (タイムトライアル)			
6	ボディマッサージ通し (タイムトライアル)			
7	JEEC試験対策 ボディコンサルテーションに基づいたトリートメント			
8	JEEC試験対策 ボディコンサルテーションに基づいたトリートメント			
9	JEEC試験対策 <input type="checkbox"/> 頭試問			
10	JEEC試験対策 <input type="checkbox"/> 頭試問			
11	模擬試験			
12	JEEC試験対策			
13	試 験 (JEEC)			
14	ボディマッサージ (応用)			
15	ボディマッサージ (応用)			
16	ボディマッサージ (応用)			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ボディエステティック		藤武	2年 前期	
到達目標	1、ボディマッサージテクニックの上達と応用力を身につけ「AJESTHE上級試		8単位 128時数	
	2、ボディコンサルテーションカの上達		実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	ボディの応用技術と各名称の学ぶ			
2	トラブルケアと施術からみた骨格と骨格筋の理解を深める			
3	トラブルケアと施術からみた骨格と骨格筋の理解を深める			
4	トラブルケアと施術からみた骨格と骨格筋の理解を深める			
5	効果的なボディマッサージ (部位別)			
6	効果的なボディマッサージ (部位別)			
7	効果的なボディマッサージ (部位別)			
8	効果的なボディマッサージ (部位別)			
9	効果的なボディマッサージ (部位別)			
10	ボディマッサージ (筋膜)			
11	ボディマッサージ (筋膜)			
12	ボディマッサージ (筋膜)			
13	試 験			
14	ボディ機器			
15	ボディ機器			
16	ボディ機器			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ボディエステティック		藤武	2年 後期	
到達目標	1、AJESTHE上級エステティシャン試験に合格する		8単位 128時数	
	2、機器の応用、コンサルテーション、応用手技のマスター		実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	AJESTHE上級実技試験対策	通し練習		
		苦手克服		
2	AJESTHE上級実技試験対策	コンサルテーション強化		
3	AJESTHE上級実技試験対策	口頭試問強化		
4	AJESTHE上級模擬試験	実際の試験を想定した試験		
		個々の課題を認識		
5	AJESTHE上級実技試験対策	個々の課題克服に努める		
6	AJESTHE上級実技試験対策	個々の課題克服に努める		
7	AJESTHE上級実技試験対策	個々の課題克服に努める		
8	AJESTHE上級実技試験対策	個々の課題克服に努める		
9	『 AJESTHE上級エステティシャン試験 』実施			
10	ボディ機器の活用	ヘアを決めて、お悩みを改善するためのプラン		
		作成と実行		
11	ボディトリートメント (エフェクティブマッサージ)			
12	ボディトリートメント (リンパドレナージュ)			
13	ボディトリートメント (ケースワーク)			
14	ボディトリートメント (ケースワーク)			
15	ボディトリートメント (ケースワーク)			
16	期末試験	ビフォーアフターの発表		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：解剖生理学Ⅰ		藤武	1年 前期	
到達目標	人体の構造と働きを知り正しいエステティックケアができるようになる		2単位 32時数	
			実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	身体の構成 細胞の持つ様々な性質			
2	血液成分の分類と働き			
3	骨格系 手技ででてくる体躯分			
4	骨の種類と特徴、作用			
5	筋肉の種類と特徴			
6	筋肉の種類別作用と特徴			
7	骨格筋の位置と作用			
8	骨格筋の位置と作用			
9	神経系 中枢神経と末梢神経			
10	情報伝達のしくみ			
11	脳の構造と機能			
12	脊髄神経と脳神経			
13	自律神経			
14	体性感覚と特殊感覚			
15	試験			
16	解答・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：解剖生理学Ⅰ		藤武	1年 後期	
到達目標	人体の構造と働きを知り正しいエステティックケアができるようになる		2単位 32時数	
	身体の各器官ごとの特徴や作用を理解し、技術の向上とカウンセリング力の向上 認定エステティシャン試験に合格する		実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	講義		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	内分泌系の構成と役割			
2	内分泌腺とホルモンの種類と作用			
3	コンサルテーション (ホルモン)			
4	呼吸器系の構成と作用			
5	呼吸器系の構成と作用			
6	循環器系の構成と作用 血液循環			
7	循環器系の構成と作用 リンパ系			
8	コンサルテーション (呼吸と循環)			
9	消化器系の構成と作用			
10	コンサルテーション (消化と吸収)			
11	泌尿器系			
12	生殖器系 女性ホルモンの変化と作用			
13	コンサルテーション (泌尿器とホルモン)			
14	まとめ			
15	試験			
16	解答・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：化粧品学Ⅰ	西村	1年 前期	
到達目標	化粧品を扱う上で必要な法律や剤型、原料の特徴や機能、効果を理解し適切な選		2単位 32時数
	できるようにする		実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	化粧品概論		
2	化粧品の分類と取り扱いの留意点 薬機法		
3	使用目的ごとのフェイシャル化粧品の目的と働き①		
4	使用目的ごとのフェイシャル化粧品の目的と働き②		
5	実習で使用する化粧品の特徴と作用		
6	メイクアップ化粧品の分類と取り扱いの留意点		
7	使用目的ごとの化粧品の目的と働き①		
8	使用目的ごとの化粧品の目的と働き②		
9	ネイル化粧品		
10	ヘアケア化粧品		
11	フレグランス		
12	試験対策		
13	試験対策		
14	試験対策		
15	試験		
16	解答・解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：化粧品学Ⅰ		西村	1年 後期	
到達目標	化粧品を扱う上で必要な法律や剤型、原料の特徴や機能、効果を理解し適切な選			2単位 32時数
	できるようにする			実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	講義		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	化粧品の原料 油性原料			
2	界面活性剤の種類と特徴			
3	界面活性剤の種類と特徴			
4	化粧品配合薬剤			
5	化粧品に用いられる薬剤とその働き			
6	化粧品の成分を読み解く			
7	化粧品の成分を読み解く			
8	化粧品の成分を読み解く			
9	化粧品販売に必要なノウハウ			
10	コンサルテーション①			
11	コンサルテーション②			
12	試験対策			
13	試験対策			
14	試験対策			
15	試験			
16	解答・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：生理解剖学Ⅰ		藤武	1年 前期	
到達目標	人体の構造と働きを知り正しいエステティックケアができるようになる		2単位 32時数	
			実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	身体の構成 細胞の持つ様々な性質			
2	血液成分の分類と働き			
3	骨格系 手技ででてくる体躯分			
4	骨の種類と特徴、作用			
5	筋肉の種類と特徴			
6	筋肉の種類別作用と特徴			
7	骨格筋の位置と作用			
8	骨格筋の位置と作用			
9	神経系 中枢神経と末梢神経			
10	情報伝達のしくみ			
11	脳の構造と機能			
12	脊髄神経と脳神経			
13	自律神経			
14	体性感覚と特殊感覚			
15	試験			
16	解答・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：生理解剖学Ⅰ		藤武	1年 後期	
到達目標	人体の構造と働きを知り正しいエステティックケアができるようになる		2単位 32時数	
	身体の各器官ごとの特徴や作用を理解し、技術の向上とカウンセリング力の向上 認定エステティシャン試験に合格する		実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	講義		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	内分泌系の構成と役割			
2	内分泌腺とホルモンの種類と作用			
3	コンサルテーション (ホルモン)			
4	呼吸器系の構成と作用			
5	呼吸器系の構成と作用			
6	循環器系の構成と作用 血液循環			
7	循環器系の構成と作用 リンパ系			
8	コンサルテーション (呼吸と循環)			
9	消化器系の構成と作用			
10	コンサルテーション (消化と吸収)			
11	泌尿器系			
12	生殖器系 女性ホルモンの変化と作用			
13	コンサルテーション (泌尿器とホルモン)			
14	まとめ			
15	試験			
16	解答・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：栄養学・関連法規Ⅰ		西村	1年 後期	
到達目標	栄養学の基礎及び各種栄養素の働きを知る		2単位 32時数	
	美容と健康に欠かせない栄養素の特徴を理解し、アドバイスができるようになる エステティックの職業に関わる法律を学ぶ		実務経験 エステサロン経営	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	栄養素の種類 五大栄養素の分類と特徴			
2	各種栄養素の特徴 (タンパク質・糖質・脂質)			
3	栄養素がもたらす肌や身体への影響			
4	各種栄養素の特徴 (ビタミン・ミネラル)			
5	栄養素がもたらす肌や身体への影響			
6	各種栄養素の特徴			
7	各種栄養素の特徴			
8	健康と栄養			
9	確認テスト/解答解説			
10	法の基礎知識			
11	エステティックに関係のある法律			
12	人体に直接触れる職業に関連する法律とは			
13	経済行為に関連する法律とは			
14	エステティック業界の統一自主基準とは			
15	試験			
16	解答・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：エステティック機器		藤武	1年 後期	
到達目標	サロンで使われる美容機器。その原理と効果、禁忌事項や操作の手順と取り扱い			2単位 32時数
	美容機器の原理を理解する			実務経験 有
授業の方法	講義		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	電気の基礎知識 原子と自由電子			
2	電流の三大作用 発熱作用/電気分解作用/磁場生成作用			
3	エステティック機器に合わせて作用と操作を理解			
4	直流と交流			
5	人体と電気			
6	エステティック機器の原理 スチーマー/ブラシクレンジング/サクション/パター			
7	エステティック機器の原理 エレクトロクレンジング			
8	エステティック機器の原理 低周波			
9	エステティック機器の原理 超音波			
10	カウンセリング機器			
11	機器の特徴の理解を深める			
12	効果の検証			
13	効果の検証			
14	まとめ			
15	試験			
16	解答・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：リフレクソロジー	小川	1年 後期	
到達目標	リフレクソロジーの成り立ちと反射区を理解し、予防美容の一つとしての知識と		2単位 32時数
			実務経験 エステサロン経営
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	リフレクソロジーとは 概要		
2	東洋医学の考え方と美容への活用法		
3	反射区とツボの違い		
4	ゾーンセラピー		
5	ストレスと病気予防		
6	反射区の場所と作用を禁忌事項と合わせて学ぶ		
7	相モデルによる練習		
8	相モデルによる練習		
9	相モデルによる練習		
10	コンサルテーションと実演		
11	コンサルテーションと実演		
12	コンサルテーションと実演		
13	模擬試験		
14	振り返り		
15	試験		
16	解答・解説		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：セラピー演習		上村	1年 前期	
到達目標	リフレクソロジーの成り立ちと反射区を理解し、予防美容の一つとしての知識と			2単位 32時数 実務経験 美容関連会社勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	アロマセラピーとは 概要			
2	アロマセラピーと美容への活用法			
3	予防医学としての考え方 活用事例			
4	予防医学としての考え方 活用事例			
5	ストレスと病気予防			
6	予防医学としての考え方 活用事例			
7	アロマセラピーと美容への活用法			
8	アロマセラピーと美容への活用法			
9	相モデルによる練習			
10	相モデルによる練習			
11	相モデルによる練習			
12	相モデルによる練習			
13	模擬試験			
14	振り返り			
15	試験			
16	解答・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：セラピー演習		上村	1年 後期	
到達目標	リフレクソロジーの成り立ちと反射区を理解し、予防美容の一つとしての知識と			4単位 64時数
				実務経験 美容関連会社勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	アロマセラピーとは 概要			
2	アロマセラピーと美容への活用法			
3	予防医学としての考え方 活用事例			
4	予防医学としての考え方 活用事例			
5	ストレスと病気予防			
6	予防医学としての考え方 活用事例			
7	アロマセラピーと美容への活用法			
8	アロマセラピーと美容への活用法			
9	相モデルによる練習			
10	相モデルによる練習			
11	相モデルによる練習			
12	相モデルによる練習			
13	模擬試験			
14	振り返り			
15	試験			
16	解答・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：カウンセリングⅠ		西村	2年 前期	
到達目標	1、エステティシャンになる上で必要な知識を学ぶ		4単位 64時数	
	2、センター試験例題集を紐解きながら知識の習得と認定エステティシャン合格		実務経験 美容関連会社勤務歴有	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	JEEC筆記対策 運動生理学	問題集演習		
	心身生理学／生命活動とホメオスタシス			
2	JEEC筆記対策 前回の復習	問題集演習		
	栄養学			
3	JEEC筆記対策 前回の復習	問題集演習		
	化粧品学			
4	JEEC筆記対策 前回の復習	問題集演習		
	電気学・機器学			
5	JEEC筆記対策 前回の復習	問題集演習		
	衛生・消毒／衛生管理			
6	JEEC筆記対策 前回の復習	問題集演習		
	サロンでの救急法			
7	JEEC筆記対策 前回の復習	問題集演習		
	エステティックカウンセリング／サロンマネジメント／経営学			
8	JEEC筆記対策 前回の復習	問題集演習		
	フェイシャル実技理論			
9	JEEC筆記対策 前回の復習	問題集演習		
	ボディ実技理論／ワックス脱毛実技理論			
10	JEEC筆記対策 模擬テスト	問題集演習		
11	JEEC筆記対策 模擬テスト	問題集演習		
12	Ajesthe 上級筆記対策	問題集演習		
13	Ajesthe 上級筆記対策	問題集演習		
14	Ajesthe 上級筆記対策	問題集演習		
15	Ajesthe 上級筆記対策			
	まとめ 復習テスト 解説・解答			
16	確認テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：セラピストⅠ		小川	2年 後期	
到達目標	・東洋医学の基礎理解		・自分の体質を知る	
	・薬膳の基礎理解		・生活への活用	
	・アキュレッチフェイスマッサージ習得		・骨盤補正整体習得	
				4単位 64時数 実務経験 美容関連会社勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	
1	①東洋医学の特徴・冷え		アキュレッチ	
	課題への取り組み姿勢		手順、内容説明	
2	②陰陽五行説・肩こり		アキュレッチ	
	課題への取り組み姿勢		顔の見方、相モデル	
3	③気血水・生理痛		アキュレッチ	
	課題への取り組み姿勢		穴の位置確認、相モデル	
4	④食養生・自律神経・頭痛		アキュレッチ	
	課題への取り組み姿勢		東洋的カウンセリング	
5	⑤相モデルで通しで技術		ご案内～アフターカウンセリング	
	課題への取り組み姿勢		カルテ記入も同時に行う	
6	⑥テスト			
	[筆記 実技			
7	⑦総合解説			
	耳つぼ体験			
8	①生命の起源、定義陰陽論、養生論		骨盤補正整体	
	課題への取り組み姿勢		手順、内容説明	
9	②五行学説		骨盤補正整体	
	課題への取り組み姿勢		体の見方、相モデル	
10	③五臓六腑の生理機能		骨盤補正整体	
	課題への取り組み姿勢		左右	
11	④気血水と体の関わり体質分類・形成		骨盤補正整体	
	課題への取り組み姿勢		表裏	
12	⑤五味五性、食べ物の食性		骨盤補正整体	
	課題への取り組み姿勢		相モデル通しで技術	
13	⑥中医学・食材学		骨盤補正整体	
			相モデル通しで技術	
14	⑦テスト			
	[筆記 実技			
15	⑧総合解説			
	質疑応答			
16	筆記試験			
	実技試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ネイルⅡ		藤田	2年 前期	
到達目標	1、JNECネイリスト技能検定試験合格を目指す		4単位 64時数	
	2、ジェルネイルの基礎を学び知識をマスターする		実務経験	
	3、		ネイリストとしてサロン経営/有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	検定対策 70分タイムトライアル	(相モデル)		
		反復練習		
2	検定対策 70分タイムトライアル	(相モデル)		
	エメリーボード、オレンジウッドスティックカットスタイル	反復練習		
3	JNEC3級 検定前最終チェック			
4	ジェルネイル基礎理論 プレパレーションからベース、カラー、トップまでデモ	トレーニングハンド使用 使用方法・セッティング		
5	ジェルネイル プレパ、ベース、カラー、トップ +オフを学			
6	プレパ、ベース、カラー、トップ、オフ			
7	ピーコックアート			
8	フレンチネイル			
9	グラデーションネイル			
10	ラメを使ってフレンチ、グラデーション			
11	トレンド！ 重ね花、タイダイ柄、ミラーネイ			
12	作品制作 コラージュ、デザイン画			
13				
14				
15				
16	課題提出			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ネイルⅣ		藤田	■ 2年 後期	
到達目標	1、JNAジェルネイル検定初級合格！		単位 時数	
	2、これまでの技術プラス応用技術が出来る様になり作品作りに生かせる技術を		実務経験	
	3、		ネイリストとしてサロン経営/有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	ジェルネイル検定対策 ・要項詰め合わせ・タイムトライアル相モデル60分	新しいセッティング確認	筆記問題配布	
2	ジェルネイル検定対策 ・セッティング・相モデル60分+オフ			
3	ジェルネイル検定対策 ・セッティング・相モデル60分+オフ			
4	ジェルネイル検定対策 ・セッティング・相モデル60分+オフ		次回：トレハンに 10分チップラウンドまで	
5	ジェルネイル検定対策 ・トレーニングハンドでトライアル・35分ケア(相モ)			
6	ジェルネイル検定対策 ・35分ケア(相モ)・・トレーニングハンドで60分			
7	ジェルネイル検定対策 ・35分ケア・トレーニングハンドで60分		次回：チップとアクリルセット	
8	ジェルネイル検定対策 ・35分ケア・アクリルでチップ着け	・要項確認 ・受験票、チェックシート確認	12/4 JNA初級 次回：デザイン画を描くもの	
9	作品作成 コラーージュを見ながらデザイン画			
10	作品作成		チップ配布	
11	作品作成 ↓			
12	作品作成			
13	作品作成			
14	作品作成			
15	作品作成 提出			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：関連法規		上村	1 年 前期	
到達目標	1. エステティックに関連する法規の習得と法令遵守の意識を育てる		2単位 32時数	
	2. 運営、管理、教育などの経営に関する事を学び理解する		実務経験 アロマセラピストとしてサロン経営	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	・法の基礎知識			
2	・消費者保護法			
3	・人の身体に触れる職業に関する法律			
4	・人の身体に触れる職業に関する法律			
5	・経済行為に関する法律			
6	・経済行為に関する法律			
7	・エステティック業統一自主基準			
8	・エステティック業統一自主基準			
9	・サロン開設のシュミレーション			
10	・サロン開設のシュミレーション			
11	・サロン運営と管理			
12	・サロン運営と管理			
13	模擬試験			
14	振り返り			
15	試験			
16	解答・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：関連法規		上村	1 年 後期	
到達目標	1. エステティックに関連する法規の習得と法令遵守の意識を育てる		2単位 32時数	
	2. 運営、管理、教育などの経営に関する事を学び理解する		実務経験 アロマセラピストとしてサロン経営	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	・法の基礎知識			
2	・消費者保護法			
3	・人の身体に触れる職業に関する法律			
4	・人の身体に触れる職業に関する法律			
5	・経済行為に関する法律			
6	・経済行為に関する法律			
7	・エステティック業統一自主基準			
8	・エステティック業統一自主基準			
9	・サロン開設のシュミレーション			
10	・サロン開設のシュミレーション			
11	・サロン運営と管理			
12	・サロン運営と管理			
13	模擬試験			
14	振り返り			
15	試験			
16	解答・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：認定エステティシャンⅡ		西村	2年 前期	
到達目標	1、コミュニケーション力向上と商品や技術の魅力を伝える能力を養う		2単位 32時数	
	2、AJESTHE上級試験の内容理解と試験合格を目指す		実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	AJESTHE上級筆記試験対策		エステティック概論	問題集の活用
2	AJESTHE上級筆記試験対策		サロン経営・接客マナー・救急法	問題集の活用
3	AJESTHE上級筆記試験対策		関連法規・公衆衛生・管理	問題集の活用
4	AJESTHE上級筆記試験対策		皮膚科学・化粧品学	問題集の活用
5	AJESTHE上級筆記試験対策		解剖生理学・運動生理学	問題集の活用
6	AJESTHE上級筆記試験対策		運動生理学・栄養学	問題集の活用
7	AJESTHE上級筆記試験対策		電気・機器学	問題集の活用
8	AJESTHE上級筆記試験対策		エステ実技理論	問題集の活用
9	AJESTHE上級筆記試験対策		メイク・ネイル	問題集の活用
10	AJESTHE上級筆記試験対策 (模擬試験)			
11	AJESTHE上級筆記試験対策 (模擬試験)			
12	AJESTHE上級筆記試験対策		傾向と対策	
13	AJESTHE上級筆記試験対策 受験			
14	サロンワーク①			
15	サロンワーク②			
16	期末試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：生命活動とホメオスタシス		藤武	2年 前期	
到達目標	ホメオスタシスの基本原理としくみを理解する			2単位 32時数
				実務経験 エステ勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	・生命と適応進化の歴史			
2	・ホメオスタシスの定義と発見			
3	・ホメオスタシスの具体例			
4	・ホメオスタシスの具体例			
5	・生体のホメオスタシスを維持するしくみ			
6	・生体のホメオスタシスを維持するしくみ			
7	・ホメオスタシスを制御する3つの配線			
8	・ホメオスタシスを制御する3つの配線			
9	(自律神経系のしくみと作用)			
10	(内分泌系のしくみと作用)			
11	(免疫系のしくみと作用)			
12	まとめ			
13	模擬試験			
14	振り返り			
15	試験			
16	解答・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：運動生理学・美容研究		藤武	1年 後期	
到達目標	運動による身体機能の変化や向上、さらに美容との関連性を学び		2単位 32時数	
	美容と健康についてアドバイスができるようになる。		実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	・運動の必要性と効果			
2	・運動に伴う筋肉、呼吸、血液の作用			
3	・運動とアンチエイジング			
4	・運動と代謝			
5	・姿勢とポジショニング			
6	・運動の実際			
7	・運動プログラム			
8	3つの運動の特徴と効果を知る	コンサルテーション力をつける		
9	・運動プログラム			
10	・目的に合わせた運動プログラムを考える			
11	jeec試験対策			
12	jeec試験対策			
13	模擬試験			
14	振り返り			
15	試験			
16	解答・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：皮膚病		藤武	2年 後期	
到達目標	さまざまな肌状態の要因やケアのポイントを理解する		2単位 32時数	
			実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	皮膚の構造と仕組みから皮膚の病気につながる根幹を知る			
2	皮膚の構造と仕組みから皮膚の病気につながる根幹を知る			
3	皮膚の構造と仕組みから皮膚の病気につながる根幹を知る			
4	感染症			
5	感染と予防 施術の禁忌			
6	感染と予防 施術の禁忌			
7	皮膚病の具体例 施術の禁忌			
8	皮膚病の具体例 施術の禁忌			
9	皮膚病の具体例 施術の禁忌			
10	皮膚病の具体例 施術の禁忌			
11	皮膚病の具体例 施術の禁忌			
12	まとめ			
13	模擬試験			
14	振り返り			
15	試験			
16	解答・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：カウンセリングⅠ		西村	2年 前期	
到達目標	1、エステティシャンになる上で必要な知識を学ぶ		2単位 32時数	
	2、センター試験例題集を紐解きながら知識の習得と認定エステティシャン合格		実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	講義		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	JEEC筆記対策 運動生理学		問題集演習	
	心身生理学/生命活動とホメオスタシス			
2	JEEC筆記対策 前回の復習		問題集演習	
	栄養学			
3	JEEC筆記対策 前回の復習		問題集演習	
	化粧品学			
4	JEEC筆記対策 前回の復習		問題集演習	
	電気学・機器学			
5	JEEC筆記対策 前回の復習		問題集演習	
	衛生・消毒/衛生管理			
6	JEEC筆記対策 前回の復習		問題集演習	
	サロンでの救急法			
7	JEEC筆記対策 前回の復習		問題集演習	
	エステティックカウンセリング/サロンマネジメント/経営学			
8	JEEC筆記対策 前回の復習		問題集演習	
	フェイシャル実技理論			
9	JEEC筆記対策 前回の復習		問題集演習	
	ボディ実技理論/ワックス脱毛実技理論			
10	JEEC筆記対策 模擬テスト		問題集演習	
11	JEEC筆記対策 模擬テスト		問題集演習	
12	Ajesthe 上級筆記対策		問題集演習	
13	Ajesthe 上級筆記対策		問題集演習	
14	Ajesthe 上級筆記対策		問題集演習	
15	Ajesthe 上級筆記対策			
	まとめ 復習テスト 解説・解答			
16	確認テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：サロン総合演習Ⅰ		藤武	2年 後期	
到達目標	1、様々な肌トラブルや目的に対応できる判断力と技術を身につけ「AJESTHE		4単位 64時数	
	2、エステティシャンとしての自覚と現場で即戦力になれる応用力を身につける 3、サロンワーク実践		実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	フェイシャル機器 (ディープクレンジング)	技術の定着と理解度アップ		
2	フェイシャル機器 (ディープクレンジング)	技術の定着と理解度アップ		
3	フェイシャル機器 (スチーマーと吸引)	技術の定着と理解度アップ		
4	フェイシャル機器 (エレクトロクレンジング)	技術の定着と理解度アップ		
5	フェイシャル機器 (パター) リンパ系の理解	技術の定着と理解度アップ		
6	サロンワークと流れの実践			
7	ガルバニックトリートメント①	引き合う力		
8	ガルバニックトリートメント②	反発する力		
9	技術の総復習			
10	スチューデントサロン開設に向けて	学びの実践 ～集客から、コンサルテーション、施術、サロン運営～		
11	スチューデントサロン			
12	AJESTHE上級試験に向けて① コンサルテーション力を磨く			
13	AJESTHE上級試験に向けて② コンサルテーション力を磨く			
14	AJESTHE上級試験に向けて③ 技術力を磨く			
15	AJESTHE上級試験に向けて④ 技術力を磨く			
16	筆記試験 実技試験	後期AJESTHE上級試験対策		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ペディキュア・マニキュア		藤田	2年 前期	
到達目標	1、JNECネイリスト技能検定試験合格を目指す		4単位 64時数	
	2、ジェルネイルの基礎を学び知識をマスターする		実務経験	
	3、		ネイリストとしてサロン経営/有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	検定対策 70分タイムトライアル	(相モデル)		
		反復練習		
2	検定対策 70分タイムトライアル	(相モデル)		
	エメリーボード、オレンジウッドスティックカットスタイル	反復練習		
3	JNEC3級 検定前最終チェック			
4	ジェルネイル基礎理論 プレパレーションからベース、カラー、トップまでデモ	トレーニングハンド使用 使用方法・セッティング		
5	ジェルネイル プレパ、ベース、カラー、トップ +オフを学			
6	プレパ、ベース、カラー、トップ、オフ			
7	ピーコックアート			
8	フレンチネイル			
9	グラデーションネイル			
10	ラメを使ってフレンチ、グラデーション			
11	トレンド！ 重ね花、タイダイ柄、ミラーネイ			
12	作品制作 コラージュ、デザイン画			
13				
14				
15				
16	課題提出			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ペディキュア・マニキュア		藤田	■ 2年 後期	
到達目標	1、JNAジェルネイル検定初級合格！		単位 時数	
	2、これまでの技術プラス応用技術が出来る様になり作品作りに生かせる技術を		実務経験 ネイリストとしてサロン経営/有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	ジェルネイル検定対策 ・要項詰め合わせ・タイムトライアル相モデル60分	新しいセッティング確認	筆記問題配布	
2	ジェルネイル検定対策 ・セッティング・相モデル60分+オフ			
3	ジェルネイル検定対策 ・セッティング・相モデル60分+オフ			
4	ジェルネイル検定対策 ・セッティング・相モデル60分+オフ		次回：トレハンに 10分チップラウンドまで	
5	ジェルネイル検定対策 ・トレーニングハンドでトライアル・35分ケア(相モ)			
6	ジェルネイル検定対策 ・35分ケア(相モ)・トレーニングハンドで60分			
7	ジェルネイル検定対策 ・35分ケア・トレーニングハンドで60分		次回：チップとアクリルセット	
8	ジェルネイル検定対策 ・35分ケア・アクリルでチップ着け	・チップオーバー レ 5本 ・要項確認 ・受験票、チェックシート確認	12/4 JNA初級 次回：デザイン画を描くもの	
9	作品作成 コラージュを見ながらデザイン画	ジェルカラー 5本	→	
10	作品作成	・ナチュラルスカル プ 5本		チップ配布
11	作品作成	+ グラデカラー 5本		
12	作品作成	・ラメスカルプ 5本 +		
12		エンボス 3本		
13	作品作成			
14	作品作成			
15	作品作成 提出			
16				

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：メイク演習Ⅱ		森山	1年 後期	
到達目標	1、スキンケアの手順、ベースメイクの作り方、ポイントメイクの表現などメイク基本テクニックを習得する			4単位 64時数
	2、セルフメイク（就活メイク、より魅力を増すメイク、イメージメイク）を極める			実務経験 化粧品会社勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	セルフメイク（就活メイク）自分に似合うメイクを知る	スキンケアからポイントメイクまで		
		セルフメイクの知識・技術を習得する		
2	セルフメイク（なりたいイメージに合わせたメイク）	スキンケアからポイントメイクまで		
	自分の魅せ方を知る	セルフメイクの知識・技術を習得する		
3	メイクアップの必要性、メイクの役割、スタンス解説	スキンケアの役割、メイクアップの		
	スキンケアの手順（クレンジング～ファンデーション塗布）	必要性を知り、実践（相モデル）		
4	スキンケアからベースメイク	手順を覚えて美しく仕上げる		
	（クレンジング～ファンデーション塗布まで）			
5	ファンデーションからベースメイク、リップ	ファンデーションを美しく塗布		
		リップのスタンダードテクニック習得		
6	ベースメイク、アイメイク	ベースメイクの完成度を上げ、		
		アイメイクのスタンダードテクニック習得		
7	ベースメイク、アイブロウ	ベースメイクの完成度を上げ、		
		アイブロウのスタンダードテクニック習得		
8	ベースメイク、チーク	チークのナチュラルな入れ方、スタン		
		ダードメイクの完成、テクニック習得		
9	骨格に合わせたメイクアップ	スキンケアをしながら骨格を把握し		
		メイクアップする		
10	メイクアップの応用（丸）	可愛らしく見せるメイク		
		の作り方を習得		
11	メイクアップの応用（三角）	かっこよく見せるメイク		
		の作り方を習得		
12	メイクアップの応用（四角）	大人っぽくエレガントに見せるメイク		
		の作り方を習得		
13	バランスのとれたメイクアップ（丸・キュート）	丸・キュートメイクまとめ		
14	バランスのとれたメイクアップ（三角・クール）	三角・クールメイクまとめ		
15	メイクアップまとめ	骨格を把握し、モデルに合う		
		メイクを作る		
16	試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：メイク演習II		森山	2年 前期	
到達目標	1、メイクの基本テクニックを身につけ、更に想像力・表現力も養う			4単位 64時数
	2、オリジナルのメイク作品を制作できるようになる			実務経験
	3、セルフメイク（就活メイク、より魅力を増すメイク、イメージメイク）を極			化粧品会社勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	セルフメイク（就活メイク）実践		自分に似合うメイクを見つけて セルフメイクする	
2	セルフメイク（なりたいイメージ・魅力的にみせるメイク）実践		イメージに合わせたメイクを セルフメイクする	
3	スキンケアの手順（クレンジング～ファンデーション塗布まで） shu uemura シグネチャーメソッド		メイクアップの必要性、 スキンケアの役割を知り、実践	
4	スキンケアからベースメイク (クレンジング～ファンデーション塗布まで)		手順を覚え、美しく仕上げる	
5	ファンデーションからベースメイク、リップ		ファンデーションを美しく塗布 リップのスタンダードテクニック習得	
6	ベースメイク、アイメイク		ベースメイクの完成度を上げ、 アイメイクのスタンダードテクニック習得	
7	ベースメイク、アイブロウ		ベースメイクの完成度を上げ、 アイブロウのスタンダードテクニック習得	
8	ベースメイク、チーク		チークのナチュラルな入れ方、スタン ダードメイクの完成、テクニック習得	
9	骨格に合わせたメイクアップ		スキンケアをしながら骨格を把握し メイクアップする	
10	フルメイクを完成させる		モデル似合うメイクを作る	
11	キュートメイク		可愛く見せる為の メイクの作り方、色使い	
12	クールメイク		カッコよく見せる為の メイクの作り方、色使い	
13	エレガントメイク		女性らしく華やかに見せる為の メイクの作り方、色使い	
14	スチール撮影用 作品メイク		撮影メイクをする際の ポイントを理解し、実践	
15	スチール撮影用 作品メイク		撮影メイクをする際の ポイントを理解し、作品を制作する	
16	実技試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：メイク演習II		森山	2年 後期	
到達目標 発想力			4単位 64時数	
			実務経験 化粧品会社勤務歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	セルフメイク（就活メイク）実践	自分に似合うメイクを見つけて セルフメイクする		
2	セルフメイク（なりたいイメージ・魅力的にみせるメイク）実践	イメージに合わせたメイクを セルフメイクする		
3	スキンケアの手順（クレンジング～ファンデーション塗布まで） shu uemura シグネチャーメソッド	メイクアップの必要性、 スキンケアの役割を知り、実践		
4	スキンケアからベースメイク (クレンジング～ファンデーション塗布まで)	手順を覚え、美しく仕上げる		
5	ファンデーションからベースメイク、リップ	ファンデーションを美しく塗布 リップのスタンダードテクニック習得		
6	ベースメイク、アイメイク	ベースメイクの完成度を上げ、 アイメイクのスタンダードテクニック習得		
7	ベースメイク、アイブロウ	ベースメイクの完成度を上げ、 アイブロウのスタンダードテクニック習得		
8	ベースメイク、チーク	チークのナチュラルな入れ方、スタン ダードメイクの完成、テクニック習得		
9	骨格に合わせたメイクアップ	スキンケアをしながら骨格を把握し メイクアップする		
10	フルメイクを完成させる	モデル似合うメイクを作る		
11	キュートメイク	可愛く見せる為の メイクの作り方、色使い		
12	クールメイク	カッコよく見せる為の メイクの作り方、色使い		
13	エレガントメイク	女性らしく華やかに見せる為の メイクの作り方、色使い		
14	スチール撮影用 作品メイク	撮影メイクをする際の ポイントを理解し、実践		
15	スチール撮影用 作品メイク	撮影メイクをする際の ポイントを理解し、作品を制作する		
16	実技試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：メイク演習Ⅲ		森山	2年 前期	
到達目標	1、コンテストエントリーに向け、アーティスティックな作品を オリジナルで制作できる力を身につける		8単位 128時数	
			実務経験 化粧品会社勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	ベースメイク表現、ツヤ肌の作り方	スキンケアからツヤ感のある肌作り		
2	ベースメイク表現、ツヤ肌、うる肌	オイリー感の厚肌作り、または パール感のある肌作り		
3	ベースメイク表現、白塗り（白クリームファンデ）	作品制作に向けたベースメイクの バリエーションを習得		
4	デザイン性のあるポイントメイク（アイメイク、チーク、リップ） グラデーション、色使い	グラデーションの美しい作り方 色の組み合わせ等イメージ作り		
5	ラインを極める（アイライン、リップラインを美しく）	ラインの美しい描き方		
6	ボディジュエリー（基本） 転写シートを使ったデザイン	基本的なボディジュエリーの 作り方を習得		
7	ボディジュエリー（応用） 自分でデザインし制作	オリジナルでデザインし、 ボディジュエリーを制作		
8	コンテストに向けた企画書・デザイン画制作	自分のイメージを企画書にまとめ デザイン画を制作		
9	コンテストデザイン画制作	コンテストテーマを理解し、 オリジナルデザインを作成		
10	コンテストデザイン画制作	コンテストテーマを理解し、 オリジナルデザインを作成		
11	コンテストデザイン画実践	作品の表現の仕方、バランス、 濃さなど、トータルで考える		
12	コンテストデザイン画実践	撮影のポイント、構図など 全体像を捉える		
13	トータルプレゼンテーション オリジナルデザイン作成	オリジナル作品を完成させる		
14	トータルプレゼンテーション 作品制作・解説	オリジナル作品制作・解説		
15	トータルプレゼンテーション 作品制作・解説	オリジナル作品制作・解説		
16	課題作成			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：メイク演習Ⅲ		森山	2年 後期	
到達目標	クオリティー高い商品を作るため、細かなテクニックの精度を上げる			8単位 128時数
				実務経験 化粧品会社勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	ファッションショーのためのメイク	スキンケア～ベース、ポイント 手無し、クイックメイクチェンジ		
2	ブライダルメイク	ブライダルのベースメイク作り トレンドetc		
3	ラインを極める	アイライン、リップラインを美しく 仕上げる		
4	グラデーション。発色、色のバランスを極める	アイメイク、ポイントメイク		
5	syu uemuraシグネチャーメソッド復習	クレンジング～ベース 手順、手技		
6	syu uemuraシグネチャーメソッド復習	ポイントメイク		
7	syu uemura検定の流れ	検定の注意事項 モデルについて		
8	syu uemura検定の流れ	検定内容通し		
9	syu uemura検定の流れ	検定内容通し		
10	作品制作デザイン画作成、メイク実践	デザイン5パターン		
11	ショーのためのステージメイクについて	ステージでの見え方、見せ方 色、質感、バランス		
12	ショーのためのステージメイクについて	ヘア、衣装のバランス		
13	ショーのためのステージメイクについて	ステージ上でのパフォーマンス スタンス、時間配分		
14	ショーのためのステージメイクについて	トータルプロデュース		
15	総まとめ			
16	課題作成			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ヘアアレンジ		西	1年 前期	
到達目標	1、各道具の扱い方、毛髪知識、造形知識			4単位 64時数
	2、基本の技術を組み合わせて簡単なまとめ髪のアレンジができることを目標			実務経験
	3、ニュアンスヘアアレンジ、編み込み			美容師・美容室勤務歴有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	ヘアアレンジのための専門用語		各道具の基本的な扱い方・使い方	
	(実技)ヘアアイロン(基本巻)カールアレンジ束結		〔・コームテクニック、ゴムの結び方	
2	毛髪基本知識 ポンパ風ハーフアップ		・ドライヤーの使い方、ヘアアイロン	
	ブローテクニック(自然なストレートを生かしたアレンジ)		・ホットカーラー、ピニング	
3	ホットカーラーを使ってニュアンスヘア		・各ブラシの使い方、ブロッキング	
	〔・ギブソンタック(ツイスト編み)		など	
4	〔・ウォーターフォール(ローブ編み)		【課題作品】	
	・フィッシュボーン(表編み)		〔・ポンパドール(ハーフアップ)	
5	〔・編み込み(ブレイド)		・ギブソンタック(ダウンスタイル)	
	似合わせのための造形知識		・ツイスト(ローブ編み)	
6	トップシニヨン基礎		・フィッシュボーン(二つ編み)	
	↓		・ウォーターフォール(表編)	
7	↓		〔・シニヨン(トップ・ダウン)	
	↓		など	
8	編み込み(ブレイド)		〔ヘアケア化粧品の使い方	
	(表・裏)二つ編、三つ編		〔デザイン画(基本)	
9	↓			
	↓			
10	編み込みを生かした作品			
	〔片編みアップ・シニヨン			
11	〔四つ編みアレンジなど			
12				
13				
14				
15				
16	試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ヘアアレンジ		西	1年 後期	
到達目標	1、各道具の扱い方、毛髪知識、造形知識		4単位 64時数	
	2、基本の技術を組み合わせて簡単なまとめ髪のアレンジができることを目標		実務経験	
	3、ニュアンスヘアアレンジ、編み込み		美容師・美容室勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	ヘアアレンジのための専門用語 (実技)ヘアアイロン(基本巻)カールアレンジ束結	各道具の基本的な扱い方・使い方 ・コームテクニック、ゴムの結び方		
2	毛髪基本知識 ポンパ風ハーフアップ ブローテクニック(自然なストレートを生かしたアレンジ)	・ドライヤーの使い方、ヘアアイロン ・ホットカーラー、ピンニング		
3	ホットカーラーを使ってニュアンスヘア ・ギブソンタック(ツイスト編み)	・各ブラシの使い方、ブロッキング など		
4	・ウォーターフォール(ロープ編み)	【課題作品】		
	・フィッシュボーン(表編み)	・ポンパドール(ハーフアップ)		
5	・編み込み(ブレイド) 似合わせのための造形知識	・ギブソンタック(ダウンスタイル) ・ツイスト(ロープ編み)		
6	トップシニヨン基礎	・フィッシュボーン(二つ編み) ・ウォーターフォール(表編)		
7	↓	・シニヨン(トップ・ダウン) など		
8	編み込み(ブレイド) (表・裏)二つ編、三つ編	ヘアカケア化粧品の使い方 デザイン画(基本)		
9	↓			
10	編み込みを生かした作品			
11	片編みアップ・シニヨン 四つ編みアレンジなど			
12				
13				
14				
15	↓			
16	試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ヘアアレンジ		西	2年 前期	
到達目標	1、ブライダル ・和装ヘア 伝わるデザイン画が描けること		4単位 64時数	
	2、多様なシーンに対応できること 綺麗に短時間で仕上げること		実務経験	
	3、撮影やイベントを意識したデザインを造れることを目標		美容師・美容室勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	
1	イベントに向けてのテーマ作品 ドレスコード (格式を考えたデザイン)			
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ボリュームアップ ・ダウンスタイル 		<ul style="list-style-type: none"> 綺麗に早く仕上げるための 仕込みのやり方 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・トップスタイル ・ニュアンススタイル 		<ul style="list-style-type: none"> ・ホットカーラー ・ピンカール 	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ギブソンタック など <p style="text-align: center;">質感を考えた作品</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・クラシックウェーブ ・飾り など 	
5	↓		↓	
6				
7	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトスタイル ・クラシックタイル 		<ul style="list-style-type: none"> 基礎を見直してレベルの高い作品を 目指すための仕込み方 	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・シニヨンスタイル ・夜会巻 		<ul style="list-style-type: none"> ・ブロー ・ホットカーラー 	
9	<ul style="list-style-type: none"> ・日本髪 		<ul style="list-style-type: none"> ・ピンカール ・スキ毛 	
10			<ul style="list-style-type: none"> ・飾り など 	
11				
12				
13				
14				
15	↓		↓	
16	実技試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ヘアアレンジ	西	■ 2年 後期	
到達目標	1、アップヘアスタイル [ベーシック2種] (シニヨン・夜会巻・新日本髪)		4単位 64時数
	2、アシスタント(助手と仕込み)		実務経験
	3、デザイン画(アップスタイル)、飾り選びと制作(アレンジ)		美容師・美容室勤務歴有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	タイトなシニヨン(トップシニヨン)	ピンニング・スキ毛(ロール基礎)	
2	ボリュームのあるシニヨン	ピンニング・スキ毛(応用)	
3	夜会巻(重ね夜会)	ピンニング(千鳥止め)	
		スキ毛(応用)	
4	夜会巻(重ね夜会)	ホットカーラー(応用)	
		逆毛	
5	夜会巻(重ね夜会)		
6	新日本髪	ホットカーラー(アップ基礎)	
		スキ毛	
7	新日本髪 (飾りまで仕上げる)	飾りの選び方、付け方	
8	飾りを活かしたアップスタイル(洋装)	基本を組み合わせた作品	
		デザイン画	
9	飾りを活かしたアップスタイル(洋装)		
10	飾りを活かしたアップスタイル(洋装)		
11	課題作品 (シニヨン、夜会ベース)	ホットカーラー	ショー(イベント)用の作品練習
		カールアイロン	
12	課題作品 (シニヨン、夜会ベース)	ピンニング、スキ毛など応用	
		飾り毛製作	
13	課題作品 (シニヨン、夜会ベース)		
14	課題作品 (シニヨン、夜会ベース)		
15	課題作品 (シニヨン、夜会ベース)		
16			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：救急法		西村	2年 後期	
到達目標	サロンにおける安全管理の知識の一つとして、お客様やサロンスタッフの急病や 応急処置及び一次救命処置を行えるよう、知識と手法を学ぶ		2単位 32時数	
			実務経験 エステサロン経営	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	救急法の基本 応急手当と一次救命処置			
2	救助者の心構えと行ってはいけない事			
3	エステティシャンに関わる救急法			
4	サロンやスパなどで起こりうるアクシデント 救急車の適切な利用			
5	疾病の見方と手当の方法、禁忌事項			
6	応急手当の実践			
7	止血法の手法			
8	エステティシャンが行う「一次救命処置」			
9	救急処置の流れと具体的な方法			
10	AEDの知識と操作方法			
11	疾病者の移動			
12	まとめ			
13	実事試験			
14	振り返り			
15	筆記試験			
16	解答・解説			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：英会話（オンライン）		AIC	■ 2年 前期	
到達目標	日常会話を英語でTRYし身につける 各回のレベルチェックに合格次第次のレベルに進み、最終レベルまで到達する			2単位 32時数
				実務経験 カリフォルニア大学講師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	授業オリエンテーション	接続チェック・ログイン・アカウント確認 受講方法の確認		
2	AICオンライン英会話 Lesson 1	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
3	AICオンライン英会話 Lesson 2	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
4	AICオンライン英会話 Lesson 3	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
5	AICオンライン英会話 Lesson 4	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
6	AICオンライン英会話 Lesson 5	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
7	AICオンライン英会話 Lesson 6	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
8	AICオンライン英会話 Lesson 7	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
9	AICオンライン英会話 Lesson 8	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
10	AICオンライン英会話 Lesson 9	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
11	AICオンライン英会話 Lesson 10	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
12	AICオンライン英会話 Lesson 11	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
13	AICオンライン英会話 Lesson 12	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
14	AICオンライン英会話 Lesson 13	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
15	AICオンライン英会話 Lesson 14	個々のペースで受講しレベルを上げていく チェックを受ける段階で報告		
16	AICオンライン英会話 まとめ	レベルチェック		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：英会話（オンライン）		AIC	■ 2年 後期	
到達目標	日常会話を英語でTRYし身につける 各回のレベルチェックに合格次第次のレベルに進み、最終レベルまで到達する			2単位 32時数
				実務経験 カリフォルニア大学講師
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	授業オリエンテーション	接続チェック・ログイン・アカウント確認 受講方法の確認		
2	AICオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 1	チェックを受ける段階で報告		
3	AICオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 2	チェックを受ける段階で報告		
4	AICオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 3	チェックを受ける段階で報告		
5	AICオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 4	チェックを受ける段階で報告		
6	AICオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 5	チェックを受ける段階で報告		
7	AICオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 6	チェックを受ける段階で報告		
8	AICオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 7	チェックを受ける段階で報告		
9	AICオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 8	チェックを受ける段階で報告		
10	AICオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 9	チェックを受ける段階で報告		
11	AICオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 10	チェックを受ける段階で報告		
12	AICオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 11	チェックを受ける段階で報告		
13	AICオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 12	チェックを受ける段階で報告		
14	AICオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 13	チェックを受ける段階で報告		
15	AICオンライン英会話	個々のペースで受講しレベルを上げていく		
	Lesson 14	チェックを受ける段階で報告		
16	AICオンライン英会話	レベルチェック		
	まとめ			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ビジネス実務マナー	堂上	■ 2年 前期	
到達目標	1、検定3級合格		2単位 32時数
	2、社会人として役に立つ知識を修得		実務経験
	3、マナーを通して人間力を高める		放送局勤務歴有・コンサル業務
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	授業内容の発表 ・実務ガイド本より		
2	ビジネスマンとしての資質 ・執務要件、(まとめ)シート	課題テスト有り	
3	組織の機能 ・業務分担、職制	・過去問題より	
4	全体マナー	テキスト仕上 課題テスト有り	
5	文書(社内) ・知識+事務用品	課題テスト有り	
6	文書(社外) ・知識+a	課題テスト有り	
7	復習 1	課題テスト有り	
8	復習 2	課題テスト有り	
9	過去問題	課題テスト有り	
10	過去問題	課題テスト有り	
11	過去問題	課題テスト有り	
12	過去問題	課題テスト有り	
13	過去問題	課題テスト有り	
14	単位試験 実施		
15	単位試験 振り返り 過去問題		
16			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ビジネス実務マナー	堂上	■ 2年 後期	
到達目標	1、接客対応の実績を事例を参考に、ロールプレイにより身につける		2単位 32時数
	2、おもてなしの心とかたちを習得する		実務経験
	3、多様なクレームに対応できる知識		放送局勤務歴有・コンサル業務
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準 筆記試験による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	クレーム開始授業説明、到達点について	
2	電話の受電スキル	前期の復習 発生練習 電話対応	
3	売り出し訓練	グループワークでスクリプト(台本)づくり	
4	売り出し訓練	グループワーク スクリプト作成	
5	売り出し訓練	グループで発表 ケーススタディー	
6	プレゼン訓練	商品の説明、解説、買う気にさせる話し方	
7	プレゼン訓練	商品の説明、解説、買う気にさせる話し方	
8	中間評価	内容評価:レポート提出と発表頻度 授業への積極的な関わり/チームの役割	
9	クレーム対応	多種多様なクレームについて、基本的な対応方法を知る	
10	クレーム対応	①心情理解・お詫び②原因・事実確認③代替案・解決策の提示 ④再度のお詫び、感謝ロールプレイングで実践演習	
11	クレーム対応	詫言の書き方(参考例3パターン)各自の業種の 事例を想定し記入	
12	3分間スピーチ	朝礼を想定し話す内容を各自で考え発表	
13	マイプレゼン	通学の仕方、休日の過ごし方、ランチのお店など自分が知っている情報を SNSスタイルで報告。自己紹介、5W2H端的に、分かりやすく	
14	企画からプレゼン	グループワーク KSB卒業旅行の企画 (全学科が楽しめる思い出に残る旅行のアイデア)	
15	企画からプレゼン	グループワーク KSB卒業旅行の企画プレゼン	
16	最終評価	内容評価:レポート提出/授業への積極的な関わり/チームの役割	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ワーキング・スタディ		藤武	■ 1年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、業界の求める人材となるため、学校指定の会社にて実践を行う		6単位 96時数	
			実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	学校指定の会社での実務			
2	学校指定の会社での実務			
3	学校指定の会社での実務			
4	学校指定の会社での実務			
5	学校指定の会社での実務			
6	学校指定の会社での実務			
7	学校指定の会社での実務			
8	学校指定の会社での実務			
9	学校指定の会社での実務			
10	学校指定の会社での実務			
11	学校指定の会社での実務			
12	学校指定の会社での実務			
13	学校指定の会社での実務			
14	学校指定の会社での実務			
15	学校指定の会社での実務			
16	学校指定の会社での実務			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ワーキング・スタディ		藤武	■ 1年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、業界の求める人材となるため、学校指定の会社にて実践を行う		6単位 96時数	
			実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	学校指定の会社での実務			
2	学校指定の会社での実務			
3	学校指定の会社での実務			
4	学校指定の会社での実務			
5	学校指定の会社での実務			
6	学校指定の会社での実務			
7	学校指定の会社での実務			
8	学校指定の会社での実務			
9	学校指定の会社での実務			
10	学校指定の会社での実務			
11	学校指定の会社での実務			
12	学校指定の会社での実務			
13	学校指定の会社での実務			
14	学校指定の会社での実務			
15	学校指定の会社での実務			
16	学校指定の会社での実務			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ワーキング・スタディ		藤武	■ 2年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、業界の求める人材となるため、学校指定の会社にて実践を行う		6単位 96時数	
			実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	学校指定の会社での実務			
2	学校指定の会社での実務			
3	学校指定の会社での実務			
4	学校指定の会社での実務			
5	学校指定の会社での実務			
6	学校指定の会社での実務			
7	学校指定の会社での実務			
8	学校指定の会社での実務			
9	学校指定の会社での実務			
10	学校指定の会社での実務			
11	学校指定の会社での実務			
12	学校指定の会社での実務			
13	学校指定の会社での実務			
14	学校指定の会社での実務			
15	学校指定の会社での実務			
16	学校指定の会社での実務			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：ワーキング・スタディ		藤武	■ 2年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、業界の求める人材となるため、学校指定の会社にて実践を行う		6単位 96時数	
			実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	学校指定の会社での実務			
2	学校指定の会社での実務			
3	学校指定の会社での実務			
4	学校指定の会社での実務			
5	学校指定の会社での実務			
6	学校指定の会社での実務			
7	学校指定の会社での実務			
8	学校指定の会社での実務			
9	学校指定の会社での実務			
10	学校指定の会社での実務			
11	学校指定の会社での実務			
12	学校指定の会社での実務			
13	学校指定の会社での実務			
14	学校指定の会社での実務			
15	学校指定の会社での実務			
16	学校指定の会社での実務			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：企業研修A		藤武	■ 1年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		15単位 240時数	
			実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：企業研修A		藤武	■ 2年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		15単位 240時数	
			実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修		企業評価振り返り	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：企業研修A		藤武	■ 2年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		15単位 240時数	
			実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修		企業評価振り返り	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：企業研修B		藤武	■ 1年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		15単位 240時数	
			実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：企業研修B		藤武	■ 2年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		15単位 240時数	
			実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ビューティービジネス学科	
教科名：企業研修B		藤武	■ 2年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う		15単位 240時数	
			実務経験 エステ勤務歴有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		